

キッズ・モニターアンケートの概要 「手話について」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

1. 実施期間 令和3年12月24日（金）～令和4年1月10日（月・祝）
2. 回答者数 199人
3. 回答率 35%（199人／561人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 子ども・福祉部 障がい福祉課

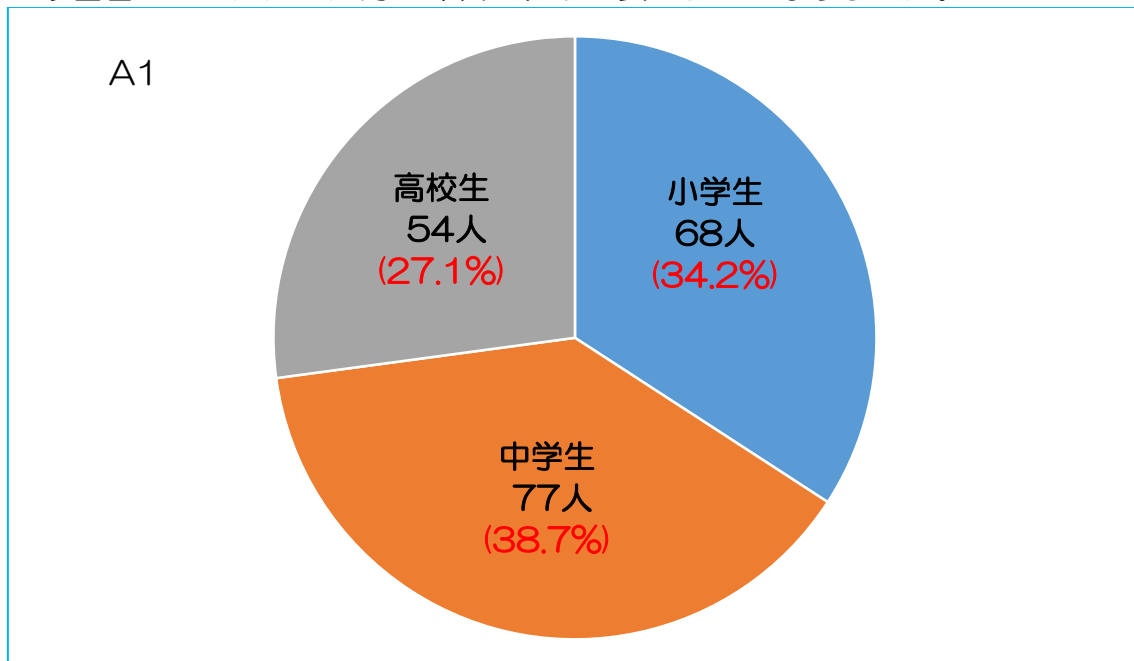
アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

- ① 小学生
- ② 中学生
- ③ 高校生

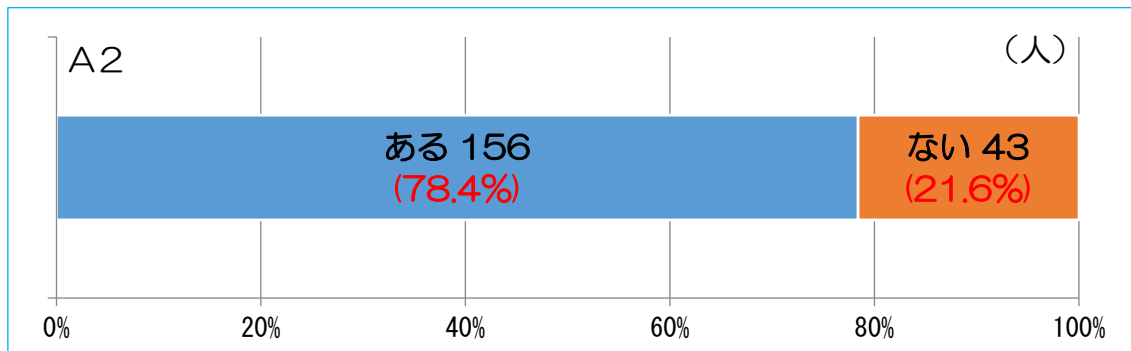
【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下の表のようになりました。



Q2 あなたは、これまでに、手話（しゅわ）にふれたことがありますか？
 （手話にふれるとは、手話を使う人に会ったり、手話を見たり、
 体験したり、学んだりすることです。）

【単一回答】



	小学生	中学生	高校生
ある	75%	82%	78%
ない	25%	18%	22%

10人のうち8人が、手話にふれたことがあることがわかりました。また、手話にふれたことが「ある」人の割合は、中学生がやや高い結果になりました。

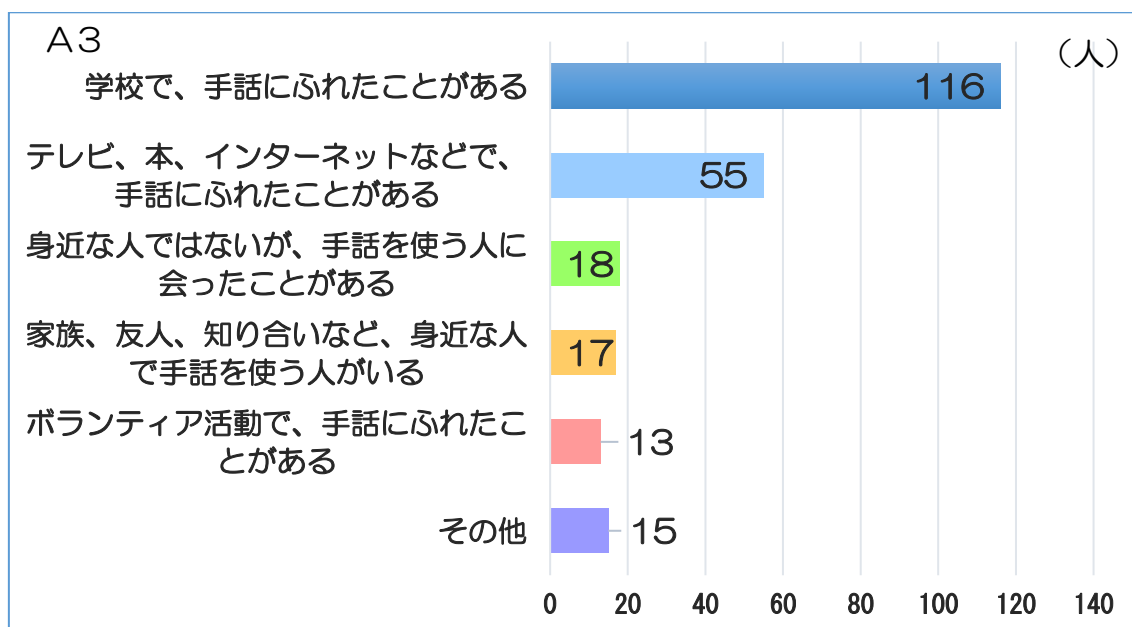
<手話にふれたことのある人の割合（キッズ・モニターアンケート）>

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
63.1%	64.2%	72.7%	72.9%	78.4%

手話にふれたことのある人の割合は、年々増加しています。

Q3 Q2で「ある」と答えた人にお聞きします。
それはどのような場面でしたか？

【複数回答】

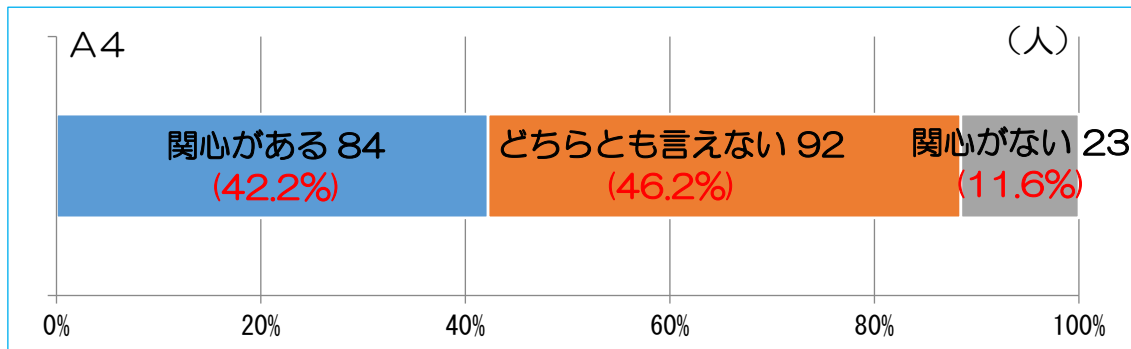


手話に「ふれる」のは、学校やテレビ、本、インターネットが多いことがわかりました。

「その他」としては、幼稚園・保育園・学童保育といった、「学校」に類する場所や、地域の催しなどの回答がみられました。

Q4 あなたは、手話に関心がありますか？

【単一回答】

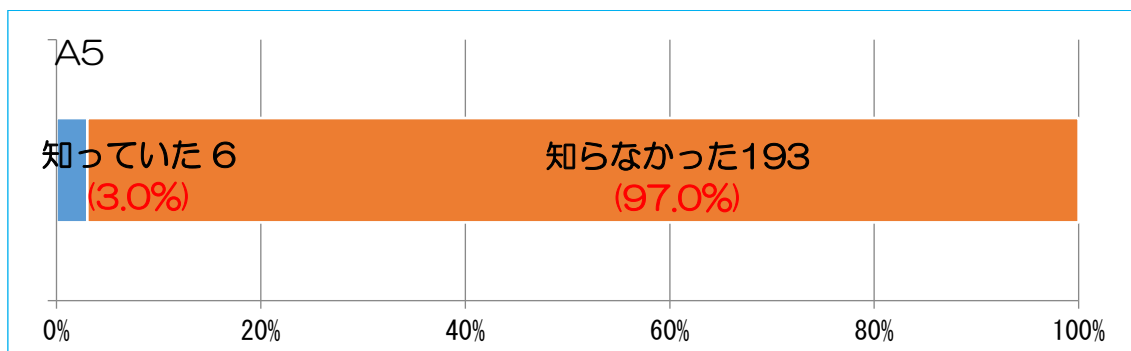


回答	小学生	中学生	高校生
関心がある	43%	44%	39%
どちらとも言えない	49%	45%	44%
関心がない	8%	11%	17%

手話に関心がある人は約4割であり、関心がない人を大きく上回りました。
また、年代別では、小学生と中学生のほうが、高校生よりやや関心が高いという結果になりました。

Q5 あなたは、平成29年4月1日に「三重県手話言語条例」ができたことを知っていましたか？

【単一回答】



三重県手話言語条例について、「知っていた」は、前回調査（令和2年1月実施）の3.3%からほとんど変化がなく、依然として知られていない状況です。

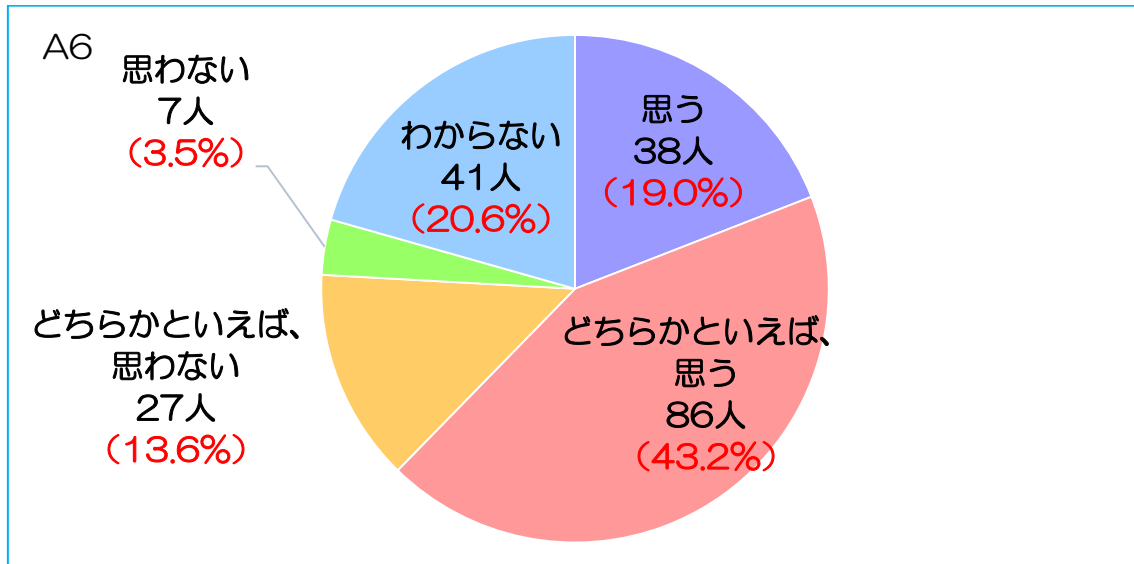
「三重県手話言語条例」では、手話は、ろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）がコミュニケーションをとるための大切な「言葉」であること、県は手話を使いやすい環境づくりを進めていくこと、また、県民のみなさんの役割として、手話への理解を深めていただくこと、などを定めています。

三重県では、条例に基づく取組を進めることにより、聞こえる人とろう者が、おたがいを尊重（そんちょう）し、だれもが手話に親しみ、手話が広く利用される社会になることをめざしています。



Q6 あなたはろう者（耳が聞こえず、手話を使っている人）と話したい
と思いますか？

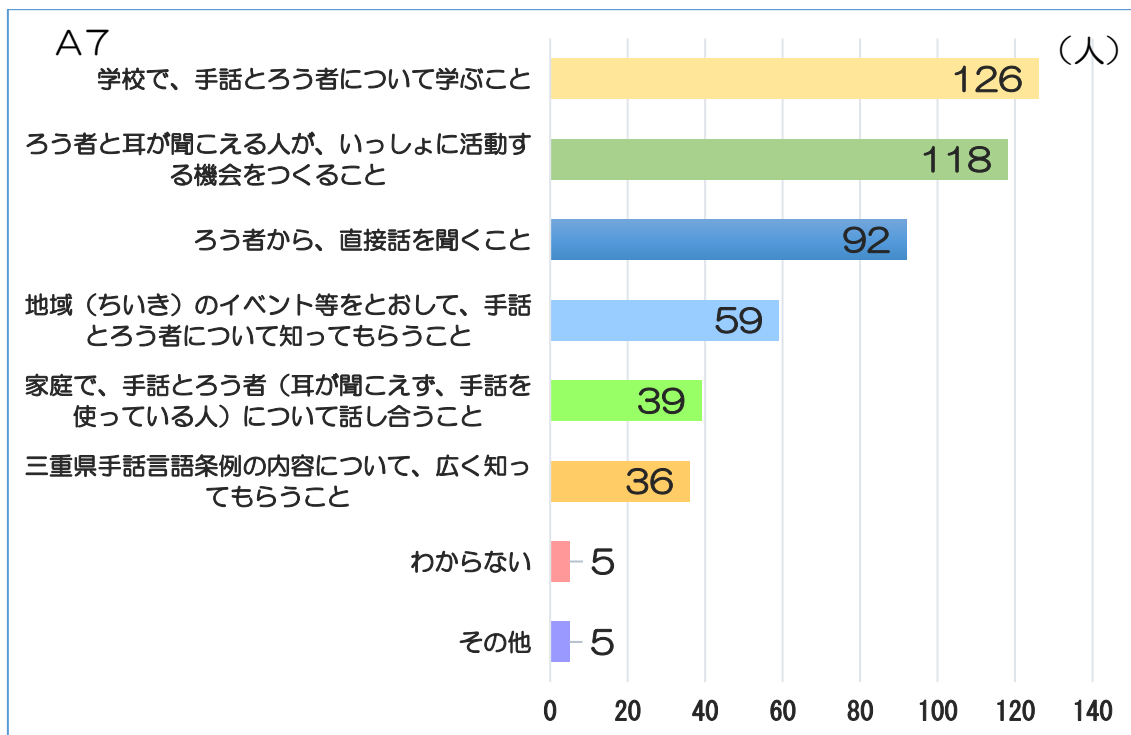
【単一回答】



「思う」「どちらかといえば、思う」とする回答が6割を超えているものの、「わからない」とする回答も多く寄せられました。

Q7 あなたは、「手話」がたくさんの人に使われる三重県になるためには、どのようなことが必要だと思いますか？

【複数回答】



「手話」がたくさんの人に使われる三重県になるためには、多くの方が「学校で、手話とろう者について学ぶこと」が必要と考えていることがわかりました。また、「ろう者と耳が聞こえる人が、いっしょに活動する機会をつくること」や「ろう者から、直接話を聞くこと」といった交流の場が必要という回答も多く寄せられました。

Q8 あなたの持っている「手話」のイメージについて、教えてください。

(例 耳が聞こえない人のことばである。かっこいい。
むずかしそう。など)

【自由回答】

「むずかしそう」「覚えるのがたいへんそう」などが多い一方で、「使う人はすごい」「かっこいい」なども目立ちました。

いくつかの意見を選びましたので、紹介します。

- 普段使っている言葉より気持ちで通じ合えるような気がする。
- 耳が聞こえない人とのコミュニケーションをとるための方法。使えたらかっこいい。
- 指文字、手話表現が難しいと思う。覚えても合っているかの確認が出来ない。
- 覚えるのが大変で知っている人が少なく、耳が聞こえない人が過ごす場所が制限されていると感じている。
- 人と交流する手段の一つ、かっこいい、いくつかの種類がある。
- 表情が豊かで、明るくて、前向きな気持ちになれる。誰もが手話ができるようになったら、健常者でも高齢になって耳が遠くなった時に手話が使えてとても良いと思う。
- 手で話が出来るとすごい。
- できたらいいとは思っているけど、実際覚える時間がなかったり、大変だったりする。
- 難しそうだけど、必要なことだと思う。
- かなり身近にある言語だと思う。自分もできるようになりたいと思う。
- スポーツやニュースなどでの通訳として、テレビの中でしかあまり見ない。自分も手話ができたら楽しそう。